



山を歩き、自然と会話する楽しさを

多くの人に語り続けたい

山歩きが夫婦2人共通の趣味

「立田山自然探検隊」の会長を務める佐々さん。月に1度、立田山を中心に毎回テーマを決めて活動。小学生やその家族、お年寄りの皆さん達と一緒に、立田山を散策してキノコを探したり、落ち葉を集めてアートを楽しんだり、公園で春の七草を摘んだり、水鳥を観察したり…と、四季折々の自然との触れ合いを楽しんでいます。また、「自然を愛する会」のリーダーの一人としても活躍中。月に2回程度の割合で九州各地の里山へ出掛け、20数名の初心者を引率します。「初めて山に登ったのは、20数年前のこと。職場のジョギングクラブの仲間誘われ、久住登山に出

掛けたのがきっかけでした。頂上近くの草原で、コーヒーを沸かしてもらったんです。晴れ渡った青空の下で、何とも贅沢な一杯です。空気はおいしいし、すれ違う人々の挨拶も気持ちがいいし、本当にすがすがしい気持ちになりました



「立田山自然探検隊」に参加した小学生のみんなと。



興味深い話に子どもたちの表情も真剣。

たね。こんな楽しみもあるのか、山って素晴らしいなあ、と気付かされました。そうして、本格的に山登りを始めたのが約15年前。奥さんの京子さんも、佐々さんの影響で山に登り始めました。富士山や白馬、屋久島、熊本百名山も7割近くは登ったのだそうです。時には、「鎖場」などの難所も。「それもまた楽しいんですよ」と佐々さんの表情はとても穏やか。目はきらきらと輝き、本当に嬉しそうです。

心ときめく草花との出会い

大きな楽しみの一つが、草花や木々との出会い。「今日はどんな花に会えるのだろうと考えただけで、心がときめきます(笑)」。出会った草花は忘れないようスケッチしたり、写真に撮ったり。草花の記録を残したアルバムを見て、その日のことを思い返しながら、夫婦の会話も弾みます。

ほかに「財団法人自然保護協会」や「自然観察指導員熊本県連絡会」などで活躍中の佐々さん。「機会があるごとに、山の楽しさを多くの人に語り続けていきたいですね。これからも、夫婦2人で元気に山歩きを続けていくことが、佐々さんの願いです。」



夫婦2人、保口岳(八代郡泉村)の山頂にて。